

輝く!地域へ飛び出すJET-ALT

取組の主体		取組の対象				地域の国際化			特色ある取組					
JET-ALT	任用団体	CIR等との連携	児童・生徒 未就学児 小学 中学 高校				教員	住民	異文化理解	地域活性化	多文化共生	長期休業中の取組	配置の工夫	デジタルツールの活用

No.20 夏季講座「クリエイティブ・ライティング・キャンプ」

実施時期：令和3年8月
任用団体名：愛媛県西条市

取組のポイント

- 高校生以上をターゲットに、個人が自作の小説を英語で作成し、オリジナリティのある表現力を磨く夏季講座を実施。
- 日本文学と英語圏文学の違いを学ぶことを通じて、各国の文化的背景への理解を涵養。

任用団体の基本情報

人口：104,955人

※令和5年4月1日現在

JETプログラム参加者の人数：(ALT) 5人 (CIR) 1人 (SEA) 0人

学校数：小学校25校、中学校10校

取組の背景・課題

従来の英語教育の下では、生徒の間でテストや受験のための勉強という意識が根強く、主体的な英語運用の面では課題が見られた。そこで、生徒が主体的に英語を運用する機会を創出するため、それぞれの生徒が自ら英語の文章を作成することで、オリジナルな英語の表現力を培う取組を検討した。

当時、NANOWRIMO (National Novel Writing Month「全国小説執筆月間」) というイベントが世界的に広まりつつあったことを受けて、本市のJET-ALTが本市国際交流協会に対して、当該イベントへの応募を目標とする夏季休業中のライティング集中講座「クリエイティブ・ライティング・キャンプ」を提案した。

取組の内容

- 夏季休業中のライティング集中講座「クリエイティブ・ライティング・キャンプ」は以下の内容である。
- 講座開催～2ヶ月前に、本市JET-ALTのAndrewと国際交流協会が中心となり、国際交流協会ホームページやチラシなどで高校生以上を対象として、宣伝した。
- 高校生を中心に15～20人の参加者が集まり、8月に毎週2時間の講義を本市の福祉センターで合計4回実施する予定でした。
- 当時は、コロナ禍であったため、Zoomを利用して、オンライン形式で講義を実施することになった。

取組の内容（続き）

- 講義内容はJET-ALTが考案した。
- ハリーポッターなど、参加者に身近な題材を用いて、英語圏文学の文章の書き方（"He was hot." に対して五感を使った表現の仕方： "His skin sizzled under the summer sun."）などをレクチャーした。
- 数回講座を実施するにあたり、講座を進めながら英語小説が作成できるような進め方（初回はNANOWRIMO・小説についての説明、第2回以降は起承転結・キャラクター、最終回は設定・セリフなど）を実施。
- JET-ALT自身が小・中学校の英語教育に携わってきた経験上、生徒が主体的に英語で表現する機会が極端に少ないという問題意識を有していたため、小説執筆を目指すライティング集中講座を通して、参加者が自ら英語で表現する機会を創出することができた。



オンライン講座の様子



実際の講習資料（小説の構成について）

取組の成果・今後の展望

本講座の参加者の中には、実際にNANOWRIMOへの応募に至った方もいるなど、参加者のライティング・スキルの向上に一定の成果が見られた。

この取組では、小説を題材として英語を表現する機会を創出したが、今後は、アニメを題材にしたり、英語で自分の町を案内してみるなど、別の題材で英語を表現する機会も検討していきたい。

問合せ先

担当部署名：西条市教育委員会学校教育課

T E L : 0897-52-1640

M A I L : gakkokyoiku@saijo-city.jp

U R L : <https://www.saijo-iea.jp/>

